

My Sonic カートリッジの試聴(4)

—DSD 録音—

1. はじめに

借用してきた My Sonic のカートリッジについてアナログを再生しつつ、DSD 録音を行います。

2. My Sonic カートリッジの試聴方法

録音対象は My Sonic Stage 1030 の導入(18)で使用した次の盤を使用します。

マーラー交響曲 3 番 SLA.3593-94 ベルナルド・ハイティンク指揮 RCO

ファリャ三角帽子 LONDON SLC 1138 アンセルメ指揮スイスロマン

これらについては、My Sonic Stage 1030 の導入(18)において ZYX R100-EX を使用して録音されていますので、今回は My Sonic Ultra Eminent Bc と My Sonic Signature Gold を使用します。

録音は TASCAM DA-3000 により 5.6MHzDSF のフォーマットで録音します。録音時の DA-3000 には GPS-777 から 44.1MHz のクロックを入力します。

再生は録音した DSD 音源を fidata にコピーし、USB 経由で Sonica DAC に送って再生します。

3. My Sonic のカートリッジの試聴結果

上記の録音音源を My Sonic Stage 1030 の導入(18)で ZYX R100-EX を使用して録音した音源と比較していきます。

マーラー交響曲 3 番の Ultra Eminent Bc を使用した録音と Signature Gold を使用した録音では、後者の方が力強さと厚みが増していますが、前報(3)における印象より、その差は縮まっていますが、Signature Gold の方が響きがしっかり伝わってきます。同様に ZYX R100-EX を使用した録音とも差が縮まっていますが、ZYX R100-EX が 3 者のなかで最もソフトな傾向があります。

ファリャ三角帽子の Ultra Eminent Bc を使用した録音と Signature Gold を使用した録音では、後者の方が力強さと音の切れ味が向上していますが、前報(3)における印象より、その差は縮まっています。同様に ZYX R100-EX を使用した録音とも差が縮まっていますが、ZYX R100-EX が 3 者のなかで最もソフトな傾向があります。

4. まとめ

Ultra Eminent Bc を使用した録音と Signature Gold を使用した録音の比較で前報 (3) の印象は残っていますが、DSD 録音では、その差は近接してきています。

以上